

公益財団法人富山県労働福祉基金 2018 年度事業報告
(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

1. 経過報告

(1) 会務報告

①第 44 回理事会

期 日 2018 年 4 月 4 日

議 事 (1)決議事項

第 1 号議案 辞任に伴う評議員候補者 1 名選任の件

第 2 号議案 辞任に伴う理事候補者 2 名選任の件

第 3 号議案 辞任に伴う監事候補者 2 名選任の件

第 4 号議案 第 28 回評議員会の開催と議案の件

②第 28 回評議員会

期 日 2018 年 4 月 17 日

議 事 (1)決議事項

第 1 号議案 辞任に伴う評議員 1 名選任の件

第 2 号議案 辞任に伴う理事 2 名選任の件

第 3 号議案 辞任に伴う監事 2 名選任の件

③2017 年度会計監査会

期 日 2018 年 5 月 16 日

監査内容 2017 年度決算書並びに事業運営状況について

監 査 人 酒井武史監事、茗ヶ原悦夫監事

2017 年度会計監査報告書

④第 45 回理事会

期 日 2018 年 6 月 11 日

議 事 (1)報告事項 2017 年度監査報告

(2)決議事項

第 1 号議案 2017 年度事業報告の内容報告の件

第 2 号議案 2017 年度計算書類承認の件

第 3 号議案 辞任に伴う評議員候補者 1 名選任の件

第 4 号議案 第 8 回定時評議員会開催及び議案の件

⑤第 8 回定時評議員会

期 日 2018 年 6 月 22 日

議 事 (1)報告事項 2017 年度監査報告

2017 年度事業報告の内容報告

(2)決議事項

第 1 号議案 2017 年計算書類承認の件

第 2 号議案 辞任に伴う評議員 1 名選任の件

⑥第 46 回理事会

期 日 2018 年 11 月 2 日

議 事 (1)報告事項 2018 年度上期事業報告及び決算報告

(2)決議事項

- 第1号議案 辞任に伴う評議員候補者1名選任の件
第2号議案 第29回評議員会開催及び議案の件

⑦第29回評議員会

期 日 2018年11月26日

議 事 (1)報告事項 2018年度上期事業報告及び決算報告

(2)決議事項

- 第1号議案 辞任に伴う評議員1名選任の件

⑧第47回理事会

期 日 2019年3月4日

議 事 (1)報告事項 2018年度事業経過報告

(2)決議事項

第1号議案 2018年度補正予算(案)に関する件

第2号議案 富山県勤労者生活安定資金融資制度「離職者生活安定資金」の保証料助成の拡充期間延長に関する件

第3号議案 2019年度事業計画(案)並びに収支予算(案)に関する件

第4号議案 2019年度資金調達及び設備投資の見込みに関する件

第5号議案 2019年度資金運用に係る年次運用方針に関する件

第6号議案 第30回評議員会の開催と議案の件

⑨第30回評議員会

期 日 2019年3月14日

議 事 (1)報告事項 2018年度期事業経過報告

(2)決議事項

第1号議案 2018年度補正予算(案)に関する件

第2号議案 2019年度事業計画(案)並びに収支予算(案)に関する件

第3号議案 2019年度資金調達及び設備投資の見込みに関する件

(2)広報活動

ホームページにより事業内容を随時広告し、中小企業勤労者、未組織勤労者を含めた家族の方々の利用促進を図ってきました。また、富山県(「労働とやま」での掲載)、富山・高岡市勤労者福祉サービスセンター(各情報誌等への掲載)、福祉事業団体(労働金庫、全労済、春日温泉観光開発)、連合富山等の協力を得て、広く県内勤労者への広報を実施してきました。

(3)契約状況

保養施設利用補助券補助額変更に伴い、各施設と契約を締結しました。

プール施設利用補助契約及び美術館施設契約について更新契約を行いました。

また、スキーシーズン利用補助券発行に伴い、各施設と契約締結をしました。

2. 付加給付事業の概要

(1) 保養施設の利用補助事業

勤労者の福祉向上と就労支援事業として保養施設利用補助事業は、宿泊の際一人年1回@600円の補助を行いました。今年度は補助額を@500円から@600円に引き上げました。

< 保養施設利用内訳 >

	今年度	前年度	対前年増減	備考
ゆ〜とりあ越中	1,299名	1,655名	▲356名	
越中庄川	1,287名	1,359名	▲72名	
グリーンビュー立山	80名	63名	17名	
いこいの村磯波風	169名	118名	51名	
呉羽ハイツ	406名	514名	▲108名	
ホテル溪仙	65名	10名	55名	
白樺ハイツ	3名	17名	▲14名	
磯はなび	308名	345名	▲37名	
とやま自遊館	47名	32名	15名	
立山グリーンパーク吉峰	8名	23名	▲15名	
金太郎温泉	284名	174名	110名	
ひみのはな	164名	148名	16名	
つるぎ恋月	91名	132名	▲41名	
IOX-ヴァルト	1名	0名	1名	
合 計	4,212名	4,590名	▲378名	

< 保養施設利用状況報告 >

	今年度	前年度利用	対前年度増減
利用者合計	4,212名	4,590名	▲378名
助成金額	2,527,200円	2,369,700円	157,500円

*2017年度は会計処理変更に伴い、2017年3月～2018年3月分を計上している。

また、2017年3月分は@800円助成しました。(@800×249名、@500×4,341名)

(2) 夏季「太閤山ランドプール」、「魚津ミラージュランドプール」の利用補助事業

児童・青少年の健全育成や勤労者と家族の健康増進事業として、太閤山ランド内の「プール広場」と「魚津ミラージュランドプール」の利用料金の利用補助を行いました。

< 「太閤山ランドプール」利用状況 >

利用期間	2018年7月22日～2018年9月2日				
補助内訳		助成額	利用者数	助成金額	前年度
	一 般	500円	1,698名	849,000円	1,636名
	高 校 生	400円	48名	19,200円	56名
	小中学生	310円	1,237名	383,470円	1,169名
	幼 児	100円	116名	11,600円	119名
			3,099名	1,263,270円	2,980名
配布枚数	8,000枚				
利用者数	3,099名 (前年度 2,980名) 増減 119名				
助成金額	1,263,270円 (前年度 1,214,690円) 増減 48,580円				

<「魚津ミラージュランドプール」利用状況 >

利用期間	2018年7月21日～2018年9月1日				
補助内訳		助成額	利用者数	助成金額	前年度
	一般	350円	629名	220,150円	580名
	小中学生	230円	356名	81,880円	317名
	幼児	70円	72名	5,040円	88名
			1,057名	307,070円	985名
配布枚数	5,000枚				
利用者数	1,057名	(前年度 985名)	増減 72名		
助成金額	307,070円	(前年度 282,070円)	増減 25,000円		

<夏季プール利用状況報告>

	今年度利用	前年度利用	対前年度増減
利用者合計	4,156名	3,965名	191名
助成額合計	1,570,340円	1,496,760円	73,580円

(3) 信用保証料給付事業

子育て支援事業として富山県と労働金庫での協調融資による「出産・子育て資金」の保証料助成と富山県勤労者生活安定資金融資制度「離職者生活安定資金」融資の保証料助成事業を行いました。利用はありませんでした。

<信用保証料給付事業利用状況報告>

	今年度		前年度		対前年度増減	
	利用者	助成額	利用者	助成額	利用者	助成額
出産・子育て資金融資保証料	—	—	—	—	—	—
離職者生活安定資金融資保証料	—	—	—	—	—	—
合計	0名	0円	0名	0円	0名	0円

(4) スキー場リフト券の補助事業

地域社会の健全な発展と活性化に向けた事業や健康づくり・子育て支援事業として、スキーリフト券は1人年1回@800円の助成を行いました。

- ・ 利用期間 2018年12月16日～2019年2月28日まで
- ・ 契約施設 立山山麓スキー場（極楽坂・らいちょうバレー）
あわすのスキー場
IOX-AROSAスキー場
- ・ 発行枚数 6,000枚
- ・ 補助金額 一人年1回@800円の補助

<リフト券利用者内訳>

	今年度	前年度	増減
極楽坂・らいちょうバレースキー場	709名	752名	▲43名
あわすのスキー場	564名	512名	52名
IOX-AROSAスキー場	539名	629名	▲90名
合計	1,812名	1,893名	▲81名
助成額合計	1,449,600円	1,514,400円	▲64,800円

<スキー場リフト券利用状況報告>

	今年度利用	前年度利用	対前年度増減
利用者合計	1,812 名	1,893 名	▲81 名
助成金額	1,449,600 円	1,514,400 円	▲64,800 円

(5) 文化施設利用補助事業

文化及び芸術の振興事業として9施設と契約しました。

<文化施設利用者内訳>

	今年度	前年度	増 減	利用金額	常設展示補助	
					大人	大人以外
富山県美術館	282 名	243 名	39 名	67,680 円	240 円	大学生 150 円
富山県水墨美術館	134 名	159 名	▲25 名	21,440 円	160 円	大学生 100 円
高志の国文学館	55 名	52 名	3 名	8,800 円	160 円	大学生 100 円
富山市郷土博物館	29 名	26 名	3 名	4,640 円	160 円	高校生以下無料
佐藤記念美術館	2 名	8 名	▲6 名	320 円	160 円	高校生以下無料
富山市民俗民芸村	45 名	40 名	5 名	18,450 円	410 円	高校生以下無料
富山市科学博物館	291 名	187 名	104 名	119,310 円	410 円	高校生以下無料
富山市天文台	22 名	12 名	10 名	3,300 円	150 円	高校生以下無料
高岡万葉歴史館	17 名	26 名	▲9 名	2,890 円	170 円	中学生以下無料
合 計	877 名	753 名	124 名	246,830 円		

<文化施設利用状況報告>

	今年度	前年度利用	対前年度増減
利用者合計	877 名	753 名	124 名
助成金額	246,830 円	195,220 円	51,610 円

貸借対照表

2019年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,980,574	2,924,522	-943,948
現金	0	0	0
普通預金	1,980,574	2,924,522	-943,948
未収収益	140,365	187,855	-47,490
流動資産合計	2,120,939	3,112,377	-991,438
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	100,030,500	100,061,000	-30,500
国債	0	0	0
地方債	100,030,500	100,061,000	-30,500
定期預金	146,565,500	146,565,500	0
普通預金	561,500	531,000	30,500
基本財産合計	247,157,500	247,157,500	0
(2) 特定資産			
運用目的積立資産	53,186,000	53,186,000	0
出資金	53,186,000	53,186,000	0
特定資産合計	53,186,000	53,186,000	0
固定資産合計	300,343,500	300,343,500	0
資産の部合計	302,464,439	303,455,877	-991,438
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	213,792	171,370	42,422
仮受消費税	0	0	0
流動負債合計	213,792	171,370	42,422
負債の部合計	213,792	171,370	42,422
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	302,250,647	303,284,507	-1,033,860
(うち特定資産への充当額)	(247,157,500)	(247,157,500)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(53,186,000)	(53,186,000)	(0)
正味財産の部合計	302,250,647	303,284,507	-1,033,860
負債及び正味財産合計	302,464,439	303,455,877	-991,438

正味財産増減計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,400,323	2,461,770	-1,061,447
基本財産受取利息	1,400,323	2,461,770	-1,061,447
特定資産運用益	1,596,550	2,127,440	-530,890
特定資産受取配当金	1,596,550	2,127,440	-530,890
受取助成金	4,626,500	4,626,500	
受取富山県補助金	1,615,000	1,615,000	
受取市町村補助金	589,000	589,000	
受取労働団体補助金	2,422,500	2,422,500	
雑収益	30	61	-31
受取利息	30	61	-31
経常収益計	7,623,403	9,215,771	-1,592,368
(2) 経常費用			
事業費	7,792,300	7,541,082	251,218
業務委託料	1,686,000	1,686,000	
印刷製本費	203,364	181,764	21,600
通信運搬費	59,886	50,750	9,136
支払手数料	28,080	25,488	2,592
広告宣伝費	21,000	21,000	
支払助成金	5,793,970	5,576,080	217,890
管理費	864,963	942,029	-77,066
業務委託料	714,000	714,000	
会議費	6,634	9,288	-2,654
印刷製本費		24,840	-24,840
通信運搬費	5,998	164	5,834
支払手数料	1,512	2,160	-648
顧問料	86,400	86,400	
雑費	50,419	105,177	-54,758
経常費用計	8,657,263	8,483,111	174,152
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,033,860	732,660	-1,766,520
当期経常増減額	-1,033,860	732,660	-1,766,520
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
当期一般正味財産増減額	-1,033,860	732,660	-1,766,520
一般正味財産期首残高	303,284,507	302,551,847	732,660
一般正味財産期末残高	302,250,647	303,284,507	-1,033,860
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	302,250,647	303,284,507	-1,033,860

正味財産増減計算書内訳書
平成30年(2018年)4月1日から平成31年(2019年)3月31日まで

[単位:円]

勘定科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用益	1,400,323			1,400,323
基本財産受取利息	1,400,323			1,400,323
特定資産運用益	1,596,550			1,596,550
特定資産受取配当金	1,596,550			1,596,550
受取助成金	3,761,537	864,963		4,626,500
受取富山県補助金	1,615,000			1,615,000
受取市町村補助金	589,000			589,000
受取労働団体補助金	1,557,537	864,963		2,422,500
雑収益	30			30
受取利息	30			30
経常収益計	6,758,440	864,963		7,623,403
				0
(2)経常費用				0
事業費	7,792,300			7,792,300
業務委託料	1,686,000			1,686,000
印刷製本費	203,364			203,364
通信運搬費	50,750			50,750
支払手数料	28,080			28,080
広告宣伝費	21,000			21,000
支払助成金	5,793,970			5,793,970
管理費		864,963		864,963
業務委託料		714,000		714,000
会議費		6,634		6,634
印刷製本費		0		0
通信運搬費		5,998		5,998
支払手数料		1,512		1,512
顧問料		86,400		86,400
雑費		50,419		50,419
経常費用計	7,792,300	864,963		8,657,263
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,033,860	0		-1,033,860
当期経常増減額	-1,033,860	0		-1,033,860
2.経常外増減の部				0
(1)経常外収益				0
経常外収益計	0	0		0
(2)経常外費用				0
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	-1,033,860	0		-1,033,860
一般正味財産期首残高				303,284,507
一般正味財産期末残高				302,250,647
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高				302,250,647

(注)貸借対照表を公益目的事業会計及び法人会計ごとに区分していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高及び正味財産期末残高は合計欄のみ記載している。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

[単位：円]

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	100,061,000		30,500	100,030,500
定期預金	146,565,500			146,565,500
普通預金	531,000	30,500		561,500
小 計	247,157,500	30,500	30,500	247,157,500
特定資産				
運用目的積立資産	53,186,000			53,186,000
小 計	53,186,000			53,186,000
合 計	300,343,500	30,500	30,500	300,343,500

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

[単位：円]

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	100,030,500	—	(100,030,500)	—
定期預金	146,565,500	—	(146,565,500)	—
普通預金	561,500	—	(561,500)	—
小 計	247,157,500	—	(247,157,500)	—
特定資産				
運用目的積立資産	53,186,000	—	(53,186,000)	—
小 計	53,186,000	—	(53,186,000)	—
合 計	300,343,500	—	(300,343,500)	—

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

[単位：円]

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
東京都公債第 681 回	100,030,500	101,370,000	1,339,500
合 計	100,030,500	101,370,000	1,339,500

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

[単位：円]

補助金等の名称・交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金					
富山県補助金	—	1,615,000	1,615,000	—	
市町村会館管理組合補助金	—	589,000	589,000	—	
労働団体補助金	—	2,422,500	2,422,500	—	
合 計	—	4,658,500	4,658,500	—	

6. 重要な後発事象

重要な後発事象は、ありません。

附属明細書

基本財産及び特定資産については、財務諸表に対する注記の記載のとおりである。

財 産 目 録

2019年 3月31日 現在



(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金			1,980,574
	普通預金	北陸労働金庫富山支店	運転資金として	1,980,574
	未収収益	北陸労働金庫富山支店	定期預金利息計上	140,365
流動資産合計				2,120,939
(固定資産) 基本財産	投資有価証券			100,030,500
	地方債	東京都債公債第681回	公益目的保有財源であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用している	100,030,500
	定期預金	北陸労働金庫富山支店	公益目的保有財源であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用している	146,565,500
	普通預金	北陸労働金庫富山支店	有価証券償還額受入口座	561,500
	運用目的積立資産	北陸労働金庫富山支店	公益目的保有財源であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用している	53,186,000
出資金				53,186,000
固定資産合計				300,343,500
資産合計				302,464,439
(流動負債)	未払金			213,792
流動負債合計				213,792
負債合計				213,792
正味財産				302,250,647

監査報告書

2019年5月15日

公益財団法人富山県労働福祉基金
理事長 辻 政光 様

監事 吉川 複 
監事 茗ヶ原 悦夫 

私たち監事は、当法人の2018年4月1日から2019年3月31日までの2018年度に係る事業報告及びその附属明細書の監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条において準用する第99条の第1項）の規定に基づき監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当法人の財産及び損益の状況等すべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上